

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年5月10日(2007.5.10)

【公開番号】特開2005-304512(P2005-304512A)

【公開日】平成17年11月4日(2005.11.4)

【年通号数】公開・登録公報2005-043

【出願番号】特願2004-121422(P2004-121422)

【国際特許分類】

A 6 1 B 1/00 (2006.01)

A 6 1 B 5/00 (2006.01)

A 6 1 B 5/07 (2006.01)

G 0 4 G 5/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 1/00 3 2 0 B

A 6 1 B 5/00 1 0 2 C

A 6 1 B 5/07 J

G 0 4 G 5/00

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月13日(2007.3.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

移動する送信装置から送信される無線映像信号を受信する受信装置と、前記受信装置が受信した無線映像信号に基づいた画像を表示する表示装置とからなる医療装置において、前記表示装置は、

時刻を計時する第1の計時手段と、

前記計時された時刻情報を送出する送出手段と、

を備え、前記受信装置は、

時刻を計時する第2の計時手段と、

前記送出手段からの時刻情報に基づいて、前記第2の計時手段の時刻設定を行う第2の時刻設定手段と、

を備えることを特徴とする医療装置。

【請求項2】

前記表示装置は、外部からの時刻情報に基づいて、前記第1の計時手段の時刻設定を行う第1の時刻設定手段を、

さらに備えることを特徴とする請求項1に記載の医療装置。

【請求項3】

前記送信装置は、検査対象の被検体内から取得された被検体内情報を、無線送信し、

前記受信装置は、前記第2の計時手段によって前記被検体内情報の取得時間を設定し、

前記表示装置は、

前記第1の計時手段によって前記検査の開始時刻と終了時刻とを設定するとともに、前記開始時刻と前記終了時刻と前記受信装置で設定された前記取得時間とに基づいて、前記画像の処理の可否を判断する判断手段と、

前記判断手段の判断結果に基づいて、前記画像の処理を行う画像処理手段と、

をさらに備えることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の医療装置。

**【請求項 4】**

前記表示装置は、前記被検体内情報に基づくサムネイル画像の表示が可能な表示手段を備え、

前記判断手段は、前記第 1 の計時手段によって前記検査の開始時刻と終了時刻とを設定するとともに、前記開始時刻と前記終了時刻と前記受信装置で設定された前記取得時間とに基づいて、前記サムネイル画像の表示の有無を判断し、

前記画像処理手段は、前記判断手段の判断結果に基づいて、前記サムネイル画像を作成することを特徴とする請求項 3 に記載の医療装置。

**【請求項 5】**

前記受信装置は、前記画像に受信時刻を付加する時刻付加手段を、

さらに備えることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれか一つに記載の医療装置。